

第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会
滋賀県開催準備委員会
第1回警備・消防専門委員会 議事録（概要）

1 日時

令和2年(2020年)2月13日(木) 14:58～15:55

2 場所

滋賀県危機管理センター 2階 災害対策室5・6

3 出席委員（五十音順、敬称略）

上内 保、上田 勝彦、門西 吉則、酒見 浄（代理：小林 由季）、辻 睦弘、
西田 康浩、藤本 博文、安井 達治（委員全員出席）
（事務局：中嶋事務局長、事務局職員4名）

4 配付資料

別添のとおり

5 会議概要

(1) 委員長・副委員長の選出

※委員の互選により安井委員を委員長に、藤本委員を副委員長に選出。

(2) 会議の公開等について

※事務局より説明。原案どおり「会議公開方針」「傍聴要領」を承認。

【質疑】

(委員)

県の審議会に準じるということであったので、傍聴に障害のある方が来られたときに合理的配慮の提供が必要になる。例えば、聴覚障害のある方が来られたときは、手話通訳者の手配や要約筆記の対応などが必要となるので、会議の開催を事前に案内される際に、1週間から10日程度前までに申し出てくださいということを一緒に案内していただきたい。

(事務局)

御提案を踏まえ、対応してまいります。

(3) 説明・報告事項

※事務局より、「国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の概要および第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会に係る開催準備経過について」「警備・消防防災業務の概要について」「警備・消防専門委員会の主な審議事項およびスケジュールについて」について説明。

【質疑】

(委員)

県の業務実施計画について、先催県は1年で作成されているところを滋賀県は令和3年度と4年度の2か年かけて検討するという説明があったが、どのような考えからか。

(事務局)

先催県の業務実施計画を確認したところ、それなりのボリュームがあった。それが3本あるので、1回の審議で終えるには内容が多い。災害や事故等の発生した場合にきちんと対応できるよう委員をはじめ、委員の所属等の関係機関と十分協議したいので、2か年かけて作成したいと考えている。

(委員)

会議の開催は、年に何回程度を予定しているのか。

(事務局)

基本的に年に1回、必要に応じて複数回開催したいと考えている。

(委員)

委員会には付託事項と委任事項があるが、基本方針については付託事項になるのか。

(事務局)

付託事項としては、基本方針および基本計画が該当する。それ以降の業務実施計画等については、委任事項となる。業務委託で作成する警備計画書および防災計画書、業務マニュアルについては、審議の対象と考えていない。

(委員)

1月27日に彦根市の準備委員会を設立した。これから様々な方針や計画を策定していくことになる。令和3年度の初めに県から手引きを配付するとの説明があったが、そのような情報をできる限り早く各市町に提供していただきたい。

(委員)

手引きは、先催県のものをベースに滋賀県で実際に実施するところを踏まえて作成されるのか。

(事務局)

先催県でも手引きを作成されている。警備・消防の分野については、それほど県によって大きな差が出るものではないと考えているが、県によって消防防災体制に若干の違いがあると思われるので、先催県の手引きをベースに滋賀県のアレンジを加えたい。

(4) 審議事項

※事務局から「警備・消防防災基本方針（案）」について説明。原案どおり承認。

【質疑】

(委員)

「救急医療」という文言を追加したとのことだが、委員には医療関係の方はおられない。「医療」を入れることについて、搬送側の消防としては問題ないのかお聞きしたい。

(委員)

通常時の救急医療体制は整っているので、各地域で患者搬送を行っている。基本的には医療圏で決まっているが、大規模災害などの場合については、受け入れについても別の体制になる。医療という部分に特化しようとする、この委員会で入り込むのは難しいと思う。

(委員)

大規模災害や多数の負傷者が出る突発的な事案が発生した場合に、消防の立場としては、まずは救助・救急体制を整えた上で、医療機関に搬送させていただく。この大会に

限らず、通常の災害についても同じような対応になると思う。この方針で書かれている内容については、この大会を通じて医療機関との連携を図るという意義と解釈している。
(委員)

医療に関しては、どこかの専門委員会で扱われているのか。

(事務局)

既に設置されている宿泊・衛生専門委員会で、医療救護体制の整備について審議していただく。国スポ・障スポの医事・衛生に関しては、既に基本方針と基本計画を定めている。来年度から宿泊・衛生専門委員会に医事・衛生部会を設け、今後、医療救護体制について具体的な検討を始める予定をしている。